

## 授業の概要 / Course description

科目基礎情報 / Course information	
開講元学部 / Faculty	共通 / COMMON
開講元学科 / Department	全学共通 / GENERAL STUDIES
登録コード / Registration Code	GSE10250
期間 / Period	2020年度 / Academic Year      2クォーター / 2Quarter
学期 / Semester	春学期 / SPRING
曜限 / Period	水 / Wed 5
教室 / Classroom	水5 :
科目名 / Course title	データサイエンス概論1：人間、社会、科学技術とデータ / OVERVIEW OF DATA SCIENCE 1
授業形態 / Course Type	講義 / Lecture
科目ナンバリング / Course Numbering	INF105-02j00
レベル / Level	100
教員表示名	鎌田 浩史
主担当教員名 / Instructor	鎌田 浩史 / KAMATA HIROFUMI
単位数 / Credits	1
更新日 / Date of renewal	2020/05/22
講義概要情報 / Course description	
授業実施方法 / Class format	
キーワード / Keywords	統計学 データサイエンス
アクティブ・ラーニングの実施 / Active Learning	あり / Yes
授業の概要 / Course description	<p>自己、他者、そして地球規模の問題解決のツールのひとつとしてのデータサイエンスへの態度を涵養するとともに、データの扱いについての基礎的な概念を修得する。</p> <p>日常生活やビジネスの現場、公共政策における政策決定・政策評価といったさまざまなシーンで使われるデータサイエンスの実例を取り上げながら、データサイエンスとは何か、なぜデータが必要なのか、データによる説明とは何か、ということについて学ぶ。</p> <p>また、個人情報を含むデータの利用について、データを提供する個人としての立場と、データを分析するデータサイエンティストとしての立場から、その有用性と危険性の両方を理解する。</p> <p>本講義はデータサイエンティスト養成のための入門科目ではなく、概論科目</p>

	<p>として幅広いテーマを扱う。そのため、本講義の受講の前提として、数学的な知識は必ずしも必要としない。</p> <p>なお、本科目はZOOMを利用してオンライン講義を行う。また本科目のすべての資料提示や課題提出はMoodleを利用して行う。Moodleのコース名・アクセスキーはLoyola上で公開する。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー（DP）との関連（対応するポリシーは、科目開講元のポリシーである。借入れ科目の場合は、カリキュラムマップを参照のこと） ／Correspondence to Diploma Policy of the offering Faculty and Department (Students who belong to other faculties and departments, check Curriculum Map of your faculty and department)</p>	<p>ディプロマ・ポリシーに係る共通事項</p>
<p>到達目標（授業の目標） ／Course objectives</p>	<p>問題や考え方、事実などに関して、受け入れたり意見や結論を述べたりする前に、データに基づいて総合的に調査しようとする思考を身につけることを目標とする。</p> <p>到達目標の達成度は最終レポートにおいて下記の5つの観点により評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 問題の説明</li> <li>2. エビデンス</li> <li>3. 背景や仮定の影響</li> <li>4. 自分の立場（見解・主張・仮説）</li> <li>5. 結論と関連する結果（推測と論理的結論）</li> </ol>
<p>授業時間外（予習・復習等）の学習 ／Expected work outside of class</p>	<p>予習は必要としないが、毎回の講義でショートエッセイまたは小テストのどちらかが課せられるため、復習のために週あたり3時間程度の授業時間外学習を必須とする。</p>
<p>他学部・他研究科受講可否 ／Other departments' students</p>	<p>可／Yes ※要覧記載の履修対象とする年次を確認すること。 Please make sure to confirm the student year listed in the bulletin.</p>
<p>評価基準・割合 ／Evaluation</p>	<p>レポート／Report （40.0%） その他／Others(in detail) （60.0%）：授業で課すショートエッセイ（1回）およびショートレポート（全3回）</p>
<p>テキスト（教科書）／Textbook</p>	<p>自由記述／Free Text：授業時に配布する講義資料をもってテキストに代える。</p>
<p>参考書／Readings</p>	<p>自由記述／Free Text：各講義時にその回のテーマに関連する参考書を紹介するが、全体の講義を通して参考となる図書を下記に掲げる。</p>

参考書1/Readings1	著者名/Authors : 竹村彰通 書名/Title : データサイエンス入門 出版社・出版年/Publisher.Year : 岩波新書、2013年
----------------	--

## 講義スケジュール/Schedule

授業計画/Class schedule	1.人間、社会、科学技術とデータ
	2.社会での実例① 日常生活とデータサイエンス
	3.社会での実例② ビジネスとデータサイエンス
	4.社会での実例③ 政策決定・政策評価とデータサイエンス
	5.データサイエンスに関連する法と倫理
	6.授業時間外での動画視聴及び課題の実施により2回分の授業に代える。